

平成21年 6月 30日

茨城県国際理解教育推進協議会
会長 石川 哲夫 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 石岡市立三村小学校 担当教諭名 小林千恵子

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。
記

実施日時	平成 21 年 6 月 25 日(木) 11:25 ~ 15:40
対象学年と人数	1 ~ 6 学年 110名
派遣講師名と 出身国	・ 西村 ルミアナ (ブルガリア) ・ サイ ヘキゲツ (台湾) ・ チュララック・マペン (タイ)
活動の内容	・ 母国語のあいさつ・自己紹介 ・ ブルガリア・タイ・台湾の紹介 ・ 質問タイム ・ 講師の方とのふれあい給食 ・ 6年生が2グループに分かれ調べたことや日本の文化や生活を紹介する。
生徒・保護者等参 加者の感想	<p>直接外国の方からお話を伺うと、大人の私も気付かない文化の違いを知ることができとても楽しかったです。子供も帰宅後楽しそうに話をしてくれ世界地図を広げ、タイを探すなどとても外国のことに興味をもってくれました。楽しみながら経験をする事で興味が高まりとてもよい経験をすることができました。</p> <p>子供にとっても違う国の人との交流をもつというのは、とってもいい機会だと思います。他の国の子供たちの遊びを経験したり、お菓子を食べたりとても楽しい時間を過ごすことができたと思います。</p> <p>6年生が細かいところまで調べて、大きな声で発表ができてよかったと思います。また、いつもに増して授業を楽しんでいる姿がとてもよかったです。</p>
先生の感想	<p>児童は台湾のことについて自分なりに理解を深めていたようだ。とても上手に説明していただきありがたかった。私自身知らないことがたくさんあった。</p> <p>話を聞くだけでなく、言葉でのやりとりやゲームなどの交流がありよくふれあえていた。</p> <p>外国のことについての理解を深めるだけでなく、6年生が日本の文化も紹介して交流したので、それぞれの文化の比較ができた。そして、日本という国の理解も深まった。</p>

